

2017年1月10日

各 位

株式会社 三井住友銀行

福岡県豊前市における国内最大級木質バイオマス発電事業に対する
プロジェクトファイナンスの組成について

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅、以下「三井住友銀行」）は、イーレックス株式会社（代表取締役社長：本名 均、以下「イーレックス」）、九電みらいエネルギー株式会社（代表取締役社長 穠山 泰治、以下「九電みらい」）及び株式会社九電工（代表取締役社長：西村 松次、以下「九電工」）が福岡県豊前市で実施する木質バイオマス発電事業（以下「本件事業」）に対するプロジェクトファイナンスのリードアレンジャーとして、総額 270.5 億円の協調融資（シンジケートローン）を組成しました。なお、本シンジケートローンには、日本生命保険相互会社、株式会社西日本シティ銀行、株式会社新生銀行、三菱 UFJ 信託銀行株式会社、明治安田生命保険相互会社、株式会社福岡銀行、株式会社北九州銀行、株式会社大分銀行、株式会社鹿児島銀行、株式会社広島銀行及び株式会社七十七銀行が参加します。

本件事業は、バイオマス燃料の発電所としては国内最大級となる 74,950kW 規模のプラントであり、再生可能エネルギーの導入量拡大と温室効果ガスの削減に資するものです。

本件事業においては、イーレックスと九電みらいが発電所運営を担い、主にイーレックスが燃料調達、九電みらいが技術管理を担当します。また、九電工は発電所の電気設備工事を担当するなど各社の強みを活かした事業運営を図ることとしています。

三井住友銀行は、プロジェクトファイナンスに積極的に取り組み、多数の実績を有しております。三井住友銀行は、これまでの取組みを通じて培ったノウハウを活かし、事業性に即した弾力的かつ高度なファイナンススキームを構築することにより、太陽光や風力に加えて新たに広がりつつあるバイオマス発電を、ファイナンス面からサポートしていきます。

以 上

1. 事業概要

事業者	豊前ニューエナジー合同会社
出資構成	イーレックス株式会社：65% 九電みらいエナジー株式会社：27% 株式会社九電工：8%
所在地	福岡県豊前市
設備容量	約 74,950kW
売電先	九州電力株式会社
営業運転開始予定年月	2020年1月

2. 完成イメージ図

